

蟹江町歴史民俗資料館 おうちミュージアム

## 第7回 蟹江城について



かにえじょうし せきひ  
(上): 『蟹江城址』石碑

かにえじょうほんまるいどあと  
(右): 『蟹江城本丸井戸跡』



今回のおうちミュージアムでは、かつて蟹江町城地区しろちくにあった「蟹江城」かにえじょうを紹介しょうかいします。

蟹江城はいつ誰だれが作ったのか、どうして蟹江にお城があったのかなど、蟹江城についてお答えこたします！

## ① 蟹江城について教えて！

Q. いつ誰が作ったの？

A. 約600年前の室町時代に北条時任という人が作ったとされています。

Q. どうして蟹江にお城があったの？

A. このころの蟹江は海に面しており、たくさんの舟や人、モノ、お金が集まる場所だったからです。

Q. 蟹江城にかかわる戦国武將は？

A. 織田信長が家来に支配させていたことがあります。ほかにも、徳川家康と羽柴秀吉(豊臣秀吉)が蟹江城を取り合ったこともあります。

Q. 蟹江城の広さは？

A. はっきりとはわかりませんが、本丸(お城の中心)だけで東西約98m、南北約90mあったとされています。これは、サッカーコートよりも少し大きいくらいです。

Q. お城にかかわるモノは残っていますか？

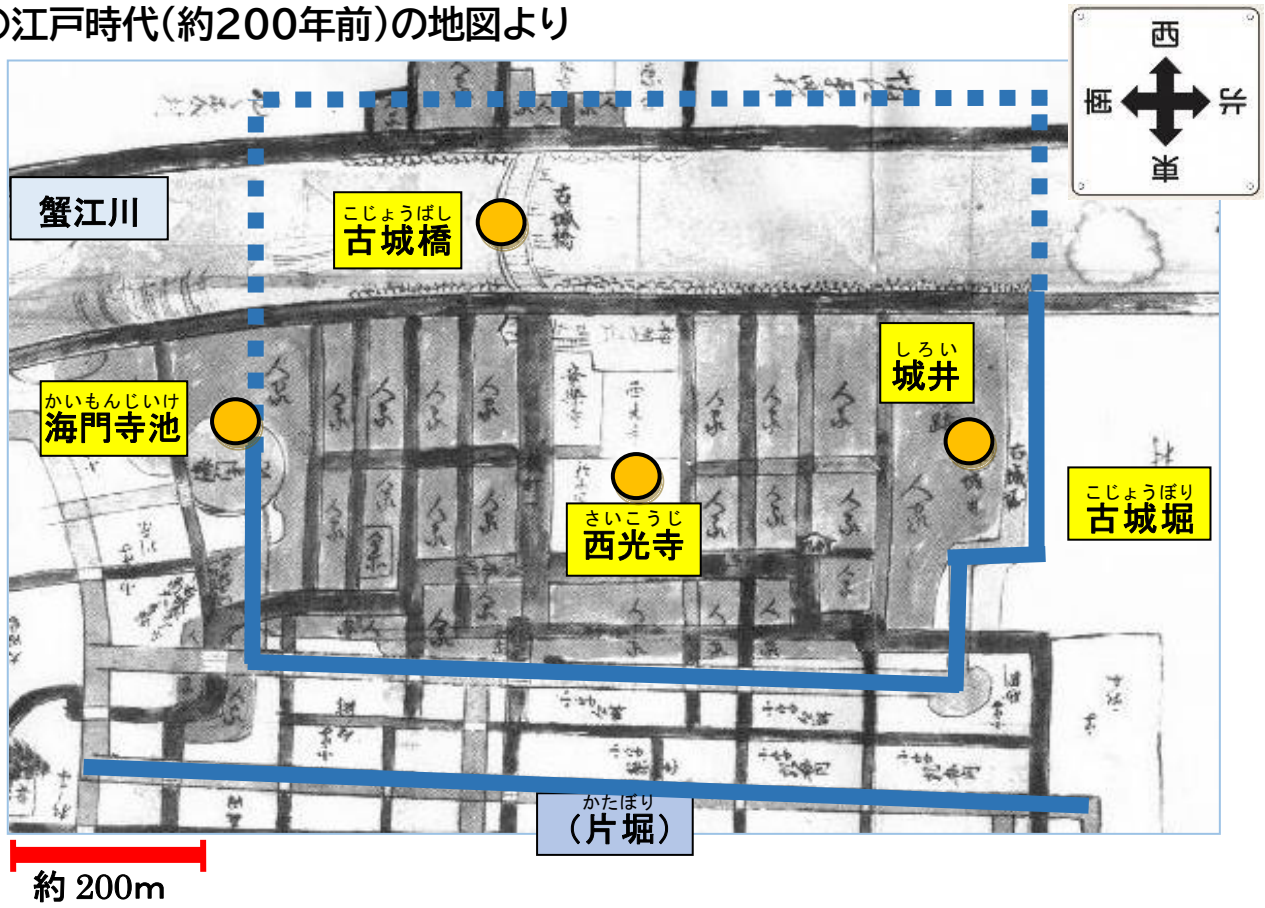
A. 蟹江城のあった場所に『蟹江城址』の石碑があるほか、本丸にあったと伝わる井戸が残されています。1枚目はこれらの写真です。

## ② 地図でみる蟹江城

江戸時代につくられた地図には、蟹江城にかかわる地名が残されています。この地図と現在の写真を見くらべて、蟹江城の全体図を想像してみましょう。

- ・青い線は、蟹江城の堀(敵の攻撃を防ぐミゾ)だったところです。
- ・青い点線の内側は、蟹江城の敷地だったと思われるところです。まちの様子が大きく変わったため、はっきりしたことはわからなくなっています。
- ・堀だったところの多くは水路として残っていますが、フタがされています。
- ・蟹江城の堀とつながる海門寺池があったところは、銭洗弁天になりました。

○江戸時代(約200年前)の地図より



○現代の写真より



※ 江戸時代の地図に地名は書かれていませんが、水路の1つは「片堀」と呼ばれていました。

次回は蟹江城をめぐる戦い「蟹江合戦」を紹介します。お楽しみに！